

【目次】

第Ⅰ章 基本的な考え方

1	総合戦略策定の趣旨	1
2	総合戦略の位置づけ	1
	(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係	1
	(2) 「第一次霧島市総合計画」との関係と戦略期間	2
3	総合戦略の目標	2
	(1) 人口目標	2
	(2) 4つの基本目標	2
4	総合戦略の策定体制等について	3
	(1) 推進体制の整備	3
	(2) 総合戦略の検証・改善	3
	(3) 「霧島市ふるさと創生総合戦略」策定の流れ	4

第Ⅱ章 霧島市ふるさと創生総合戦略

1	総合戦略の検討プロセス	5
2	霧島市ふるさと創生総合戦略全体図	6
3	基本目標と施策の概要	7
	I まちを元気にする、人を豊かにする産業づくり	8
	II 訪れたい、住み続けたいまちづくり	10
	III 幸せな家庭づくりを支える環境づくり	13
	IV 暮らしやすい、暮らしたくなる地域づくり	15

第 I 章 基本的な考え方

1 総合戦略策定の趣旨

我が国の人口は、2008年の約1億2,800万人をピークに減少局面に突入し、2050年には1億人を割り込み9,700万人程度になると予想されています。

そのような中、国は「まち・ひと・しごと創生法」を平成26年11月に公布するとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を同年12月に閣議決定しました。

本市の人口も2000年の127,735人をピークに減少傾向が続いており、2060年には92,919人と10万人を割り込む推計がなされています。

人口ビジョンで分析したとおり、現在の水準を上回る人口を確保するためには、合計特殊出生率の向上や移住者の受け入れ・人口流出の抑制等に取り組む必要があります。

そのために策定したものが本総合戦略であり、市民や事業者、その他の関係者も一体となった「オール霧島」で総合戦略を推進し、「新たな挑戦!!」に取り組んでいきます。

2 総合戦略の位置づけ

(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則、4つの基本目標に基づき、人口減少や経済規模の縮小などの課題克服に向け、本市の強みを活かした総合戦略を策定、推進することで、「まち・ひと・しごと」の創生と好循環の確立を目指します。

◀「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と政策5原則（抜粋）▶

◆「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方

【人口減少と地域経済縮小の克服】

- 本格的な人口減少時代の到来、地方と東京圏の経済格差による人口の一極集中が加速。
- 地域経済の縮小により、人口の一極集中と地方の人口減少に拍車がかかる。
- 地方における負のスパイラルの解消、人口減少を克服する。
 - ⇒ 「東京一極集中」を是正する。
 - ⇒ 若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する。
 - ⇒ 地域の特性に即して地域課題を解決する。

【まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立】

- 地域経済の活性化、産業の高付加価値等による「しごとの創生」
- 地方就労の促進や移住定住促進等による「ひとの創生」
- 安心できる暮らしの確保や都市のコンパクト化、広域連携による「まちの創生」

◆まち・ひと・しごと創生に向けた政策5原則

【自立性】

構造的な問題に対処し、地方公共団体等の自立につながるようにする。

【将来性】

地方が自立的かつ主体的に、前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

【地域性】

各地域の実態に合った施策を支援することとし、各地域は客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。

【直接性】

限られた財源や予算の中で、最大限の成果を上げるため、施策を集中的に実施する。住民代表・^{※1}産官学金労の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。

【結果重視】

明確なPDCAサイクルの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

※1：産官学金労：(産＝産業界)(官＝行政機関)(学＝教育機関)(金＝金融機関)(労＝労働団体)

(2) 「第一次霧島市総合計画」との関係と戦略期間

「第一次霧島市総合計画」後期基本計画については、計画期間を平成25年度から平成29年度までの5年間としています。また、「総合戦略」は、人口減少克服・地方創生を目的に策定するものであり、国の総合戦略の期間である平成27年度から平成31年度の5年間を戦略期間とします。

なお、「総合計画」と「総合戦略」の目的が共通する施策については、相互の整合性を図るとともに、効率的な運用を行い、一体的に推進することで、大きな相乗効果を生み出していきます。

3 総合戦略の目標

(1) 人口目標

本市の総合戦略では、「人口ビジョン」で推計した将来の人口推計を踏まえ、2060年において、本市の人口を13万人とすることを目標とします。

本市の人口目標：13万人（2060年）

(2) 4つの基本目標

本市は、人口ビジョンでも示したとおり、今後、少子高齢化が加速するものと推計されており、前述の人口目標を達成するためには、「出生率の向上」等による自然減の抑制と移住定住促進等による社会減の抑制を図るとともに、「魅力ある多様な就業機会の創出（しごとの創生）」や「安心して生活できる地域社会の形成（まちの創生）」に取り組んでいく必要があります。

そこで、国の4つの基本目標も踏まえ、

- I まちを元気にする、人を豊かにする産業づくり
- II 訪れたい、住み続けたいまちづくり
- III 幸せな家庭づくりを支える環境づくり
- IV 暮らしやすい、暮らしたくなる地域づくり

の4つの基本目標を定め、総合戦略を推進していきます。

4 総合戦略の策定体制等について

(1) 推進体制の整備

総合戦略の策定及び施策の推進のために、平成27年1月に市長を本部長とする「霧島市地方創生推進本部」及び同年2月に同推進本部の下に5つの専門部会を設置しました。さらに、地方創生の推進に当たっては、行政だけでなく、市民や企業、教育機関、金融機関など“産官学金労言”が積極的に連携し、総合戦略の施策に取り組んでいく必要があることから、同年6月に「霧島市地方創生有識者会議」を設置しました。

関係者の連携・情報共有を推進することで、施策の横断的な広がりを促し、各施策を効果的かつ効率的に実施していくことで、総合戦略の実効性を高めます。

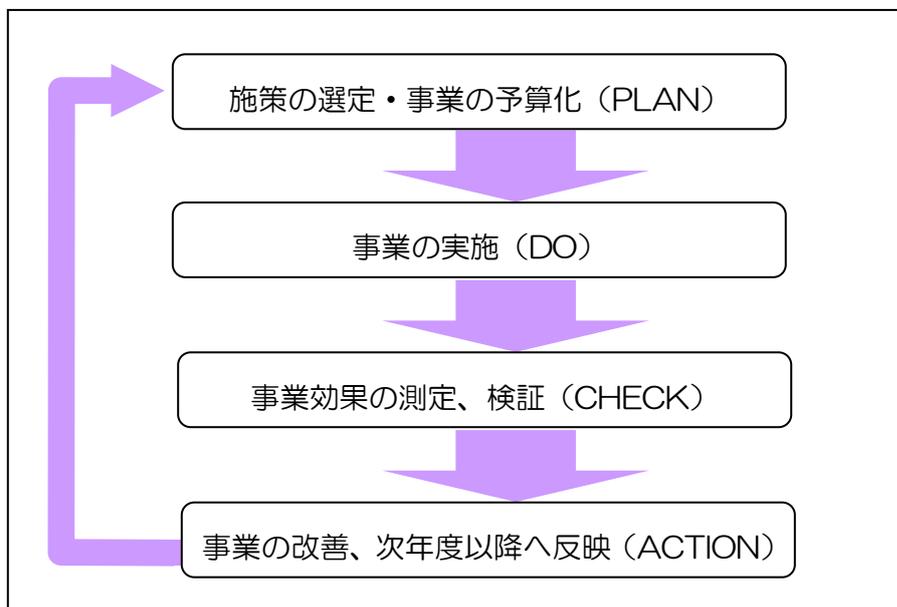
(2) 総合戦略の検証・改善

総合戦略の効果を検証し、改善を図っていくため、基本目標ごとに“成果指標”を掲げるとともに、施策ごとに“重要業績評価指標（※1 KPI）”を設定し、これらの具体的な数値目標に基づき、施策の効果を客観的に検証、改善を行っていく仕組み（※2 PDCA サイクル）を構築します。

※1：KPI：Key Performance Indicator ～各施策の達成度を図る指標

※2：PDCA サイクル：業務管理手法の一つで「計画（Plan）⇒実行（do）⇒評価（check）⇒改善（action）」という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的に業務を改善していく手法

《PDCAサイクルの実践イメージ》



霧島市を取り巻く環境（人口推計）

国の状況

人口減少・高齢化の進行 ※社人研推計値
 1億2800万人（2008年）⇒8700万人（2060年）
 高齢化率：22.1%（同上）⇒39.9%（同上）

合計特殊出生率の低迷
 ⇒1.43（2013年）

東京圏への一極集中
 ⇒転入超過：+10万人（2013年）

霧島市の状況

人口減少・高齢化の進行 ※社人研推計値
 ピーク12.8万人（2000年）⇒9.3万人（2060年）
 高齢化率：13.8%（1980年）⇒37.4%（同上）

死亡数が出生数を上回る“自然減”の発生
 ⇒自然減：28人（2013年）

若者を中心とした人口流出
 ⇒転出超過：249人（2013年）

産業規模の縮小
 ⇒企業数：▲206社（2009年／2012年比）

人口目標

人口目標：13万人（2060年）を目指す

- ⇒ 婚活・子育て支援により出生率の向上を図る。
- ⇒ 移住者の受け入れにより社会増を図る。
- ⇒ 産業の活性化による雇用創出で若者の流出抑制を図る。

(3)「霧島市ふるさと創生総合戦略」策定の流れ

民間活力の積極的な活用

関係者間でのネットワークの構築
 ⇒ 相互間での共通認識、情報共有
 住民や地元企業等との協働
 ⇒ 協働体制による施策の担い手の確保

まちづくりを担う“人財”の発掘・育成

“オール霧島”で課題を克服する

人口減少克服に向けた
 攻めの展開

魅力的な地域資源
 （霧島市の強み）を活かす

多様な地域資源

食材：安心できる質の高い農水産物
 温泉：豊かな温泉資源
 観光：多彩で美しい自然
 教育：充実した高等教育機関
 （第一工大・高専など）

主な基本的施策

- I-1 「強み」を活かした企業の誘致、「連携」から創造する産業育成
- I-2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造
- II-1 I・J・U “移住天国霧島”魅力増進計画
- II-2 “感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」
- II-3 地元の学生や若者、女性と地元の企業を“繋ぐ”地元就職マッチング
- III-1 人生の喜びを実感できる、結婚・妊娠・出産・子育て支援
- III-2 子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進
- IV-1 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成
- IV-2 既存ストック活用による小さな拠点等の形成
- IV-3 公共交通の見直し等による生活利便性の向上及び地域間連携の推進
- IV-4 環境と調和したまちづくりの推進

第一次霧島市総合計画

【まちづくりの基本理念】
 世界にひらく、
 人と自然・歴史・文化が
 ふれあう都市

目指すべき
 まちの姿

【まちの将来像】
 人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市

計画の考え方を総合戦略に反映

霧島市

ふるさと創生総合戦略の策定

“産学官金労言”
 連携による推進

4つの
 基本目標

I まちを元気にする
 人を豊かにする
 産業づくり

II 訪れたい
 住みたい
 まちづくり

III 幸せな家庭づくりを
 支える環境づくり

IV 暮らしやすい
 暮らしとなる
 地域づくり

「計画」と「戦略」の
 一体的推進による相乗効果

期待される成果（例）

地元産業の活性化
 新たな雇用創出

- ・地域の経済規模拡大
- ・若者の雇用創出
- ・若者の地元定住促進

地域のにぎわい創出
 観光関連産業の振興

- ・交流人口の増加
- ・移住・定住人口の増加
- ・地域の担い手の確保

出産・子育て環境の充実
 婚活の促進

- ・合計特殊出生率の向上
- ・子どもの増加
- ・地域の人口増（自然増）

地域活動の活性化
 地域の魅力向上

- ・地域の課題解決
- ・地域の持続性の向上
- ・住民満足度の向上

具体的な数値目標（KPI）
 による事業評価

事業の検証、改善

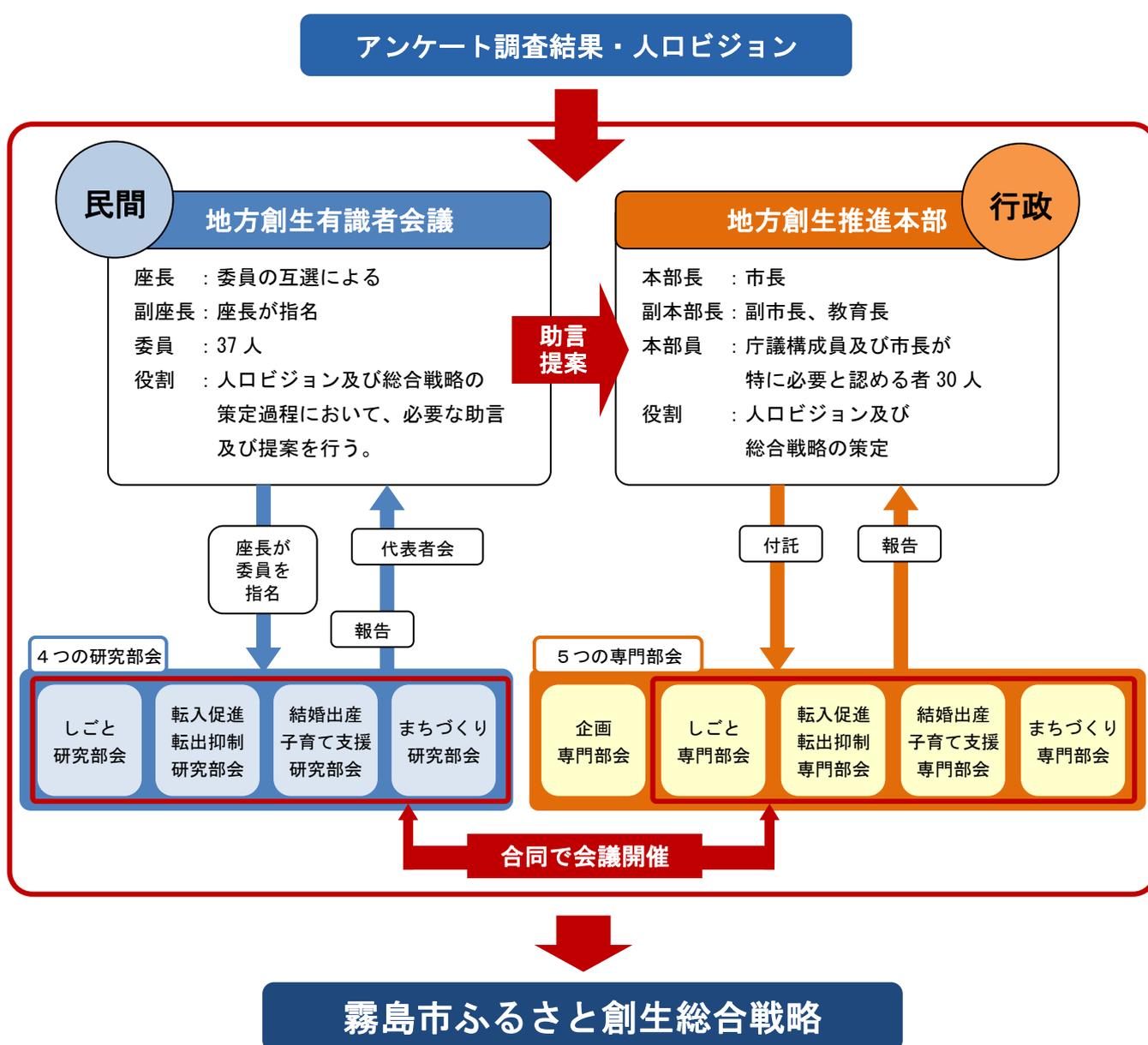
PDCA

第Ⅱ章 霧島市ふるさと創生総合戦略

1 総合戦略の検討プロセス

平成 27 年 6 月から 7 月にかけて、市民等を対象にアンケート調査を実施するとともに、人口動向分析等を踏まえ、将来の市の人口目標値を設定するための「霧島市ふるさと創生人口ビジョン」を策定しました。

アンケート調査結果や人口ビジョンの分析に基づき、市長を本部長とする「霧島市地方創生推進本部」及び5つの「専門部会」で検討するとともに、「霧島市地方創生有識者会議」で出された意見等を踏まえ、「霧島市ふるさと創生総合戦略」を策定しました。



2 霧島市ふるさと創生総合戦略 全体図



基本目標の成果指標

I - ①誘致企業件数	基準値（現状）：44件 ⇒ 平成31年度：59件
I - ②新規創業件数	基準値（現状）：-件 ⇒ 平成31年度：12件
II - ①社会動態 ※転入者、転出者数	平成31年度：社会増に転換 ※転入者数>転出者数
II - ②若者の地元就職率	平成31年度：高校生 35.0%、大学生等 23.0%
III - ①合計特殊出生率	基準値（現状）：1.73 ⇒ 平成31年：1.84
III - ②子育てしやすい環境が整っていると考えられる家庭の割合	基準値（現状）：59.0% ⇒ 平成31年：69.7%
IV - 住民満足度	基準値（現状）：67.8% ⇒ 平成31年：75.0%

3 基本目標と施策の概要

I

まちを元気にする、人を豊かにする産業づくり

I-1 「強み」を活かした企業の誘致、「連携」から創造する産業育成

- (1) 企業誘致強化プロジェクト
- (2) 地場産業・新規創業への支援
- (3) 新産業の創出

I-2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造

- (1) 農林水産業の経営基盤強化
- (2) 農林水産業の“稼ぐ力”向上プロジェクト

II

訪れたい、住み続けたいまちづくり

II-1 I・J・U “移住天国霧島” 魅力倍増計画

- (1) おじゃんせ霧島PRプロジェクト
- (2) おじゃんせ霧島支援プロジェクト

II-2 “感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」

- (1) 五感に響く観光資源の発見と価値の創出
- (2) 価値の伝達と観光客の誘致
- (3) 受け入れ環境の整備

II-3 地元の学生や若者、女性と地元の企業を“繋ぐ”地元就職マッチング

- (1) 学生就職支援プロジェクト
- (2) 女性や若者が活躍できる雇用環境支援プロジェクト

III

幸せな家庭づくりを支える環境づくり

III-1 人生の喜びを実感できる、結婚・妊娠・出産・子育て支援

- (1) 出会いの場の創出
- (2) 妊娠・出産の希望をかなえる環境づくり
- (3) 子育てをみんなで支える環境づくり

III-2 子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進

- (1) 子どもたちの夢をかなえる機会の提供

IV

暮らしやすい、暮らしたくなる地域づくり

IV-1 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

- (1) 地域特性を活かしたまちづくり
- (2) 安心・安全なまちづくり
- (3) 医療体制の充実
- (4) 高齢者、障がいのある方が生き生きと暮らせる地域づくり

IV-2 既存ストック活用による小さな拠点等の形成

- (1) 住民の“よりどころ”となる“小さな拠点”形成
- (2) 空き家・空き店舗の利活用
- (3) 公共施設マネジメントの推進

IV-3 公共交通の見直し等による生活利便性の向上及び地域間連携の推進

- (1) 地域交通ネットワークの充実
- (2) 高齢者や乳幼児を連れた方にやさしい交通環境の整備
- (3) 広域都市連携による特色あるまちづくり

IV-4 環境と調和したまちづくりの推進

- (1) 良好な環境の保全と形成
- (2) 環境に配慮した再生可能エネルギーの推進
- (3) 暮らしやすいまちを形成するための基盤整備やインフラ等の維持管理の推進

I-1 「強み」を活かした企業の誘致、「連携」から創造する産業育成

施策

概要・目的

鹿児島県本土の中央部に位置し、空港や高速道路、主要幹線道路、鉄道網など、国内外への流通ルートが確保された地理的特性を活かし、企業誘致を積極的に推進します。

また、商工関係団体や企業、高校や高等専門学校、大学等と連携したネットワークの構築などにより、地場産業の育成、新産業の創出、雇用の拡大を目指します。

(1) 企業誘致強化プロジェクト

企業立地に適した用地などの情報収集を強化し、用地の確保に努めるとともに、地の利、人材確保の優位性を活かした積極的な誘致活動を行います。

また、誘致企業との連絡調整を図り、安定した創業や増設など事業規模拡大への支援を行います。

想定される取組

- ・企業の動向・ニーズの把握など情報収集の強化
- ・受入環境を整えるための用地の調査や確保への取組
- ・進出環境を整えるための土地取得や設備投資及び地元雇用を促進するための制度拡充
- ・立地企業との連絡調整や企業間の交流機会の充実

重要業績評価指標 (KPI)

- ①合併後の企業誘致件数（増設も含む。）
- ②企業誘致によって新たに確保された雇用者数

基準値（現状）

①44件、②968人

H31目標値

①59件、②1,493人

(2) 地場産業・新規創業への支援

地場産業の活性化、新規創業の促進を図るため、地域の産学官金が連携して中小零細企業や創業希望者をサポートする体制を構築し、関係機関のノウハウ等を活かし、研究・開発・生産・販売、人材の確保・育成等に関わる包括的な支援を行います。

想定される取組

- ・創業支援センターと創業支援ネットワーク参加団体による一体となった創業支援
- ・中小零細企業の活性化を図るための振興会議の創設
- ・地場産業の活性化と新規創業を支援する制度の創設
- ・ハローワークとの連携による人材確保、育成支援

重要業績評価指標 (KPI)

- ①創業支援相談件数、②新規創業者数

基準値（現状）

①50件、②-件

H31目標値

①60件、②12件

(3) 新産業の創出

地元企業や高等教育機関、産業支援機関等による共同研究・開発の促進等、地域のあらゆる資源を集結することにより、次世代に向けた新産業の創出を図ります。

想定される取組

- ・鹿児島工業高等専門学校及び第一工業大学等における共同研究・開発の促進
- ・かごしま産業支援センター、鹿児島工業技術センターとの連携
- ・企業間の交流・連携強化による新商品・技術開発、販路開拓等の推進

重要業績評価指標 (KPI)

連携して取り組んだ件数

基準値（現状）

4件

H31目標値

24件

I - 2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造

施策

概要・目的

農林水産業の経営基盤を強化するとともに、担い手の確保・育成による事業の継続性向上など強い農林水産業を育成します。

本市の恵まれた地域特性を活かした6次産業化やブランド化の推進による農林水産物の付加価値向上及び新製品の開発を促進します。

(1) 農林水産業の経営基盤強化

農林水産業の生産性向上および効率化を進めるとともに、担い手の確保・育成による持続可能な経営基盤を強化します。

想定される
取組

- ・ほ場整備や農地集約による生産現場の強化
- ・新規就農や経営能力を高めるための支援
- ・林業・水産業分野における労働力の確保
- ・教育機関との連携による担い手育成と学習機会の充実

重要業績評価指標
(KPI)

①農地集積率、②新規就農者数、③林業・水産業新規就業者数

基準値（現状）

①40.0%、②14人、③17人

H31 目標値

①50.0%、②10人以上/年
③林業：+24人、水産業：+13人

(2) 農林水産業の“稼ぐ力”向上プロジェクト

6次産業化やブランド化の推進により農林水産物の付加価値を高めるとともに、市場ニーズに合った新製品の開発、効果的なPRを実施することで、農林水産業の“採算性（稼ぐ力）”の向上を図ります。

地産地消とともに“地産外消”による地域外からの所得を高める販路拡大の取組を進めます。

想定される
取組

- ・霧島市の農林水産物等推奨品認証制度の確立
- ・JAや漁協、企業、教育機関等との共同研究による新商品・新製品等の開発や販路拡大
- ・物産館などと連携したイベント開催などによるPRの実施
- ・ジェットロとの連携強化による海外輸出の促進

重要業績評価指標
(KPI)

①農林水産物等推奨品認証数、②海外輸出に向けた商談会への参加者数
③新商品・新製品の開発数、④農業生産額

基準値（現状）

①-件、②-人
③-件、④6,225百万円

H31 目標値

①20件、②10人
③3件、④7,000百万円

具体的な施策

Ⅱ - 1

I・J・U “移住天国霧島” 魅力倍増計画

施策

概要・目的

移住希望者向けに本市の特性を活かした情報提供を推進するとともに、移住者・定住者の拡大を図るための新たな支援や相談体制の充実に取り組みます。

具体的な施策

(1) おじゃんせ霧島PRプロジェクト

「飛行機を降りたらそこは霧島市」をキャッチフレーズに、全国各地、また海外にも便利な地域であることや自然・温泉・食などに恵まれていることをPRするとともに、インターネットの活用や口コミによる幅広い世代への情報発信を推進します。

想定される
取組

- ・ 空港所在地である強みや自然・温泉・食などを活かした、動画配信ツール等によるPRの展開
- ・ ふるさと会など市外在住者への情報発信による「人から人へ」の 口コミ情報発信
- ・ 官民一体となったシティプロモーションの展開

重要業績評価指標
(KPI)

移住プロモーションによる相談件数

基準値（現状）

320 件/年

H31 目標値

400 件以上/年

(2) おじゃんせ霧島支援プロジェクト

中山間地域に移住する方への支援を行うとともに、本市の自然を活かした移住体験機会の充実を図るなど、幅広い世代の移住・定住を促進します。

想定される
取組

- ・ 移住希望者へのやさしい、きめ細やかな相談体制の確立
- ・ 空き家を活用した補助事業や移住定住促進事業の継続による支援
- ・ 観光などを目的とした宿泊滞在から移住に繋げるための取組
- ・ 農業体験など受入れ体制の確立に向けた取組
- ・ 官民協働による新たな移住定住施策の展開

重要業績評価指標
(KPI)

移住専門窓口への相談及び各種施策による移住者数

基準値（現状）

39 世帯

H31 目標値

+80 世帯/年

Ⅱ - 2

“感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」

施策

概要・目的

日本初の国立公園「霧島」や天孫降臨神話など、本市特有の歴史・文化的条件、山や川、海、温泉、食など多種多様な資源の恵みなどのポテンシャルを活かし、五感に響く、感動を生み出す霧島ならではの観光施策の展開により、国内外の交流人口増加を目指します。

(1) 五感に響く観光資源の発見と価値の創出

霧島の多種多様な資源や素材を活かし、市民や交通機関・宿泊施設・観光施設・行政等が連携を密にし、五感に響くような価値を持った観光メニューや観光ルートを開発します。

想定される
取組

- ・五感を切り口にした霧島の資源や素材の掘り起し
- ・着地型（体験型）の観光メニューや観光ルートの構築
- ・新しい霧島の地域ブランド「五感再生ツーリズム」を創出
- ・各種大会やイベントなどコンベンション誘致の推進と拡大

重要業績評価指標
(KPI)

①観光資源開発件数、②コンベンション誘致件数

基準値（現状）

①35件、②15件

H31 目標値

①50件、②20件

(2) 価値の伝達と観光客の誘致

観光地としての認知度や課題等の現状分析を実施するとともに、SNS、HP、マスコミュニケーション等各種メディアの活用や観光関連組織との連携を図り、「五感再生ツーリズム」の価値や観光商品の効果的な広報宣伝活動を推進します。

想定される
取組

- ・市場のニーズやマーケットなどの情報収集
- ・マーケティング環境の変化に対応したアプローチ
- ・共感連鎖を生み出すための情報受発信の効果的なマネジメント
- ・観光、農商工、関係者など様々な団体と連携したプロモーション
- ・鹿児島空港定期便就航地などをターゲットにした効果的なプロモーション

重要業績評価指標
(KPI)

①プロモーション件数、②入込観光客数（宿泊＋日帰り）、③観光消費額

基準値（現状）

①29回、②7,568千人
③55,300百万円

H31 目標値

①35回、②8,614千人
③60,200百万円

(3) 受け入れ環境の整備

国内外の観光客にも分かりやすい観光案内板の設置や二次アクセスの向上による周遊性の高い観光地づくりに取り組みます。

想定される
取組

- ・霧島市観光ガイド連絡協議会の充実・強化
- ・鹿児島空港を核とした二次アクセスの具体的展開
- ・国内外の観光客が分かりやすい観光地へのルート案内
- ・国際航空路線を有する空港所在地の強みを活かしたインバウンド対策の推進
- ・マーケットと「五感再生ツーリズム」の地元実践者等を繋ぐコーディネート体制の構築

重要業績評価指標
(KPI)

民間の調査機関による全国温泉地満足度の順位

基準値（現状）

14位

H31 目標値

8位

具体的な施策

Ⅱ - 3

地元の学生や若者、女性と地元の企業を“繋ぐ”
地元就職マッチング

施策

概要・目的

企業や教育機関、ハローワークなどとの連携やネットワークを活かし、地域で育て、地域に根ざす、新たな人の流れを創造します。

具体的な施策

(1) 学生就職支援プロジェクト

高校や高等専門学校、大学が市内にキャンパスを有する好条件を活かし、地元で育った学生が、市外に就職・転出する流れを変えるため、地元企業の情報を知る機会の充実を図ります。また、学生と企業のマッチングを行うことで、地元への就職率を向上させ、企業の安定した採用活動を推進し、若者の人材確保を図ります。

想定される
取組

- ・ 地元の企業を知る機会としての企業見学会・企業説明会など情報提供機会の充実
- ・ 企業と連携したインターンシップの推進

重要業績評価指標
(KPI)

- ① 高校卒業時の就職者の地元就職率
大学等卒業時の就職者の地元就職率
- ② 合同説明会への参加企業数

基準値（現状）

①-%、②-社

H31 目標値

- ① 高校生：35.0%、大学生等：23.0%
- ② 30社/年

(2) 女性や若者が活躍できる雇用環境支援プロジェクト

女性や若者に対する様々な就職支援を進めるとともに、安定した雇用環境づくりのために職場環境改善への取組を推進します。

想定される
取組

- ・ ハローワークなど雇用相談や就職情報の提供
- ・ 安心して働くための職場環境改善への啓発促進
- ・ 就職への意欲をかなえるスキルアップの機会の充実

重要業績評価指標
(KPI)

- ① 事業所におけるワーク・ライフ・バランスの認知度向上
- ② 就職支援セミナー受講者の就職率

基準値（現状）

①56.6%、②-%

H31 目標値

①80.0%、②50.0%

Ⅲ-1

人生の喜びを実感できる、結婚・妊娠・出産・子育て支援

施策

概要・目的

結婚につながる出会いの場を創出し、妊娠・出産・子育てに関する支援を充実させることにより、安心して生み育てられる環境づくりに取り組みます。

具体的な施策

(1) 出会いの場の創出

独身男女の交流を活発化し、さまざまな機会を通じて出会いの場を創出することで、結婚への新たなステップを支援します。また、若者に対して結婚の喜びや素晴らしさを伝えることで結婚に対する機運の醸成を図ります。

想定される
取組

- ・企業や団体等と連携した婚活イベントの実施や参加の促進
- ・既存のボランティア活動やイベントなどを通じた出会いの場の創出
- ・若者に対する結婚の喜び・素晴らしさに関する情報の発信

重要業績評価指標
(KPI)

婚活イベント開催数

基準値（現状）

-回

H31 目標値

2回以上/年

(2) 妊娠・出産の希望をかなえる環境づくり

安心して子どもを生み育てることができる支援体制の充実を図ります。また、妊娠期・出産期・乳幼児期を通じた母子に対する保健・医療施策を充実することにより、妊娠・出産に関する不安の軽減を図ります。

想定される
取組

- ・母子保健サービスの充実や不妊治療など各種支援制度の周知と利用促進
- ・妊娠や出産に対する不安や悩みを解消するための相談体制の充実
- ・企業などと連携した、働く場における妊娠・出産へのサポート体制の充実

重要業績評価指標
(KPI)

①出生数、②特定不妊治療費助成件数

基準値（現状）

①1,244人、②131件

H31 目標値

①+50人/年
②140件

(3) 子育てをみんなで支える環境づくり

子育てに対する負担の軽減や、子育て中の親が気軽に集い、お互いに育児の悩みを共有することができる交流の場づくり、相談体制の充実などにより、安心して子育てのできる環境づくりを行います。

また、育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

想定される
取組

- ・多様な保育ニーズに応じたきめ細やかな支援体制の充実
- ・子どもの成長過程に応じた各種相談や子育て支援に関する情報発信の充実
- ・地域や職場ぐるみによる子育て支援の推進

重要業績評価指標
(KPI)

①子育てしやすい環境が整っていると考えられる家庭の割合
②子育ての不安感や負担感を持っている世帯の割合

基準値（現状）

①59.0%、②61.4%

H31 目標値

①69.7%、②59.3%

Ⅲ-2

子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進

施策

概要・目的

霧島市の将来を担う子どもたちが、生涯にわたって自ら学び、高い志をもち社会を生き抜く力を備える教育を推進します。それを支えるために教育分野のまちの将来像である「共に学び、育み、磨きあう、人が輝くまち」の実現に向け、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった文教都市の形成を目指します。

具体的な施策

(1)子どもたちの夢をかなえる機会の提供

子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来、社会に貢献できる人材を育成するため、確かな学力の定着、思いやりの心と目標を持ち続け努力する心の醸成及び健康づくりや体力の向上を図ります。また、市民が共に学びあい、共に育みあう環境づくりに努めます。

想定される
取組

- ・外国人観光客への案内ができる英語教育等の推進による学力の向上と豊かな心や個性を育む教育の充実
- ・地産地消を目指した食育の推進による健やかな体を育む教育の充実
- ・家庭や地域の教育力の向上と子どもの自立を地域全体で支える環境づくりの推進
- ・生涯スポーツ、文化芸術に親しむための環境づくりの充実と交流人口の拡大
- ・鹿児島国体や東京オリンピック・パラリンピックに向け、市民一体となった健康づくりへの機運の醸成

重要業績評価指標
(KPI)

- ①確かな学力を身に付けることができた児童生徒の割合
- ②スポーツ大会等に参加した延べ人数
- ③芸術文化活動のきっかけづくりの活動に参加した延べ人数

基準値（現状）

①73.0%
②78,793人、③99,276人/年※

H31 目標値

①76.0%
②85,808人、③94,000人/年

※基準値は大隅国建国1300年関連事業の影響で例年に比べ突出して増加（前年は90,368人）

Ⅳ－１ 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

施策

概要・目的

健康で豊かな暮らしを実現するため、地区自治公民館を中心とした住民自治を推進し、地域の活性化や防犯、防災対策等、地域が自立しながら自ら活性化に取り組むことのできる環境づくりを推進します。

具体的な施策

(1) 地域特性を活かしたまちづくり

市民の健康で豊かな暮らしを実現するため、地区自治公民館や自治会を中心とした住民自治を推進し、地域が自立し、地域特性を活かしたまちづくりに向けた取組を積極的に支援します。

想定される取組

- ・地域が自主的に地域を創生していくための「地域まちづくり計画」の推進
- ・地区自治公民館の相互連携による情報の共有や新たな取組の推進
- ・活力あるまちづくりを目指し、お互い協力しながら取り組む地域活動への支援
- ・地域おこし協力隊、集落支援員等による自治活動支援の促進

重要業績評価指標 (KPI)

- ①制度を活用した団体数、②自治公民館連絡協議会における研修会の開催回数
③外部団体等を活用した地域数、④まちづくり活動に参加している市民の割合

基準値 (現状)

①345 団体、②15 回
③6 件、④55.8%

H31 目標値

①370 団体、②18 回
③11 件、④62.0%

(2) 安心・安全なまちづくり

地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、日ごろから自主防災の重要性を認識してもらうための取組を推進するとともに、地域での防犯活動や災害に備えた協力体制の充実・強化を図ります。

想定される取組

- ・防犯・防災の体制整備及び重要性に係る普及・啓発
- ・自主防犯・防災組織の活動充実
- ・関係機関の相互応援体制の充実・強化
- ・災害等に対応した情報伝達網の充実

重要業績評価指標 (KPI)

- ①防災対策に対する市民の認識度
②犯罪に対して不安を持っている市民の割合

基準値 (現状)

①71.7%、②21.5%

H31 目標値

①81.1%、②20.0%

(3) 医療体制の充実

急速な高齢化や社会構造の多様化・複雑化が進む中で、疾病の構造が変化し、医療需要の増加が見込まれる中、始良・伊佐保健医療圏における中核病院である霧島市立医師会医療センターの機能充実や医療関係機関との連携を図り、市民がいつでも安心して医療を受けられる体制づくりを行います。

想定される取組

- ・霧島市医師会医療センターの機能充実
- ・医療機関の連携による救急医療、小児医療体制の充実
- ・在宅医療やかかりつけ医などの推進

重要業績評価指標 (KPI)

かかりつけ医等を決めている市民の割合

基準値 (現状)

56.6%

H31 目標値

63.0%

(4) 高齢者、障がいのある方が生き生きと暮らせる地域づくり

高齢者、障がいのある方が、生き生きと暮らせる地域づくりを行うため、多様な人材が地域社会に参加し、活躍できる環境を整備します。

具体的な施策

想定される
取組

- ・ 高齢者、障がいのある方の地域活動への参加促進や就業・就労支援
- ・ シルバー人材センターと連携した高齢者の社会参加促進
- ・ 住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりとサービスの充実

重要業績評価指標
(KPI)

住み慣れた地域で自立した生活をしている障がい者や高齢者の割合

基準値（現状）

障がい者：97.0%
高齢者：93.0%

H31 目標値

障がい者：97.2%
高齢者：95.0%

Ⅳ－２ 既存ストック活用による小さな拠点等の形成

施策

概要・目的

公共施設や空き家・空き店舗などの既存ストック等を有効活用することで、地域の魅力の維持・向上、地域住民による助け合いや多様な活動の活性化を図ります。特に中山間地域では、小さな拠点形成により地域の特性を活かしたまちづくりに取り組みます。

(1) 住民の“よりどころ”となる“小さな拠点”形成

中山間地域等において、生活に必要な機能を維持し、多世代交流を促す場を提供すること等により、住民同士の助け合いや地域資源を活かした多様な活動が創出されていくことを目指します。場の確保に当たっては、公共施設マネジメントの観点から既存施設等を有効活用していきます。

想定される
取組

- ・地域の実情分析や“小さな拠点”に必要とされる機能の調査・研究
- ・総合支所などの公共施設の利活用による新たな機能の充実
- ・“小さな拠点”を核とした新たなコミュニティづくりの推進

重要業績評価指標
(KPI)

- ①地域間連携や企業、学校などと共同で取り組んだ件数
- ②小さな拠点形成に向けた、公共施設の利活用件数

基準値（現状）

①1件、②-件

H31 目標値

①11件、②5件

(2) 空き家・空き店舗の利活用

空き家・空き店舗に係る情報を一元的に管理し、情報提供の拡充を図るなど、空き家・空き店舗の利活用を促進します。

想定される
取組

- ・空き家・空き店舗に関する情報収集及び提供
- ・空き家・空き店舗を活用した地域活性化に係る取組への支援
- ・大学と連携した空き家・空き店舗利活用の推進

重要業績評価指標
(KPI)

空き家・空き店舗の利活用件数

基準値（現状）

5件/年

H31 目標値

10件/年

(3) 公共施設マネジメントの推進

「霧島市公共施設管理計画」に基づく公共施設管理を推進するため、地域の特性や地域課題等を考慮しつつ、施設の用途にとらわれない横断的な利活用や民間活力活用等を検討し、総量や維持管理コスト等の適正化を図ります。

想定される
取組

- ・公共施設の利活用に向けた地域住民のニーズの把握
- ・公共施設の多機能化等による民間活力導入や新たな利活用の推進
- ・新たな維持管理手法の導入による効率的な更新・維持管理の推進

重要業績評価指標
(KPI)

- ①指定管理者制度導入の施設数
- ②公共サービスを提供しなくなった施設の延床面積
- ③維持管理経費の削減率

基準値（現状）

①-施設、②-m²、③-%

H31 目標値

①168施設、②9.9万
③10.0%（H27年度基準）

具体的な施策

Ⅳ－3 公共交通の見直し等による生活利便性の向上及び地域間連携の推進

施策

概要・目的

買い物、通院等の生活サービスへのアクセス性を改善し、生活利便性の向上を図るとともに、地域間の連携を促進するため、地域公共交通の見直し等を行います。また、近隣自治体との連携を促すことで広域的な地域の魅力づくりや情報発信を行います。

具体的な施策

(1) 地域交通ネットワークの充実

中山間地域を中心とした交通アクセスの利便性向上を図るため、地域内移動や中心市街地へのアクセスなど地域特性や住民ニーズにあった交通網の整備を図ります。
また、交流人口の拡大を図るため、空港やJRをはじめとする重要交通結節点との相互連携等を図ります。

想定される
取組

- ・ 地域ニーズにあった多様な交通手段の確保
- ・ 総合支所や本庁、空港やJRなど交通結節点を核とした交通網の形成
- ・ 航空路線の確保や拡大に向けた航空機利用の促進
- ・ 国県道をはじめとする円滑な道路交通ネットワークの形成推進

重要業績評価指標
(KPI)

- ①コミュニティバスの利用者数
- ②鹿児島空港乗降客数

基準値（現状）

①67,415人
②5,154,250人

H31 目標値

①70,000人/年
②+15万人

(2) 高齢者や乳幼児を連れた方にやさしい交通環境の整備

高齢者や乳幼児を連れた方など、誰もが安心・安全に利用できるように、地域公共交通のアクセス拠点、乗り換え拠点等のユニバーサルデザイン化を推進します。

想定される
取組

- ・ 主要な公共交通施設等のユニバーサルデザイン化の推進
- ・ 交通バリアフリーマップの作成及び提供

重要業績評価指標
(KPI)

バリアフリー化を講じている市内JR駅

基準値（現状）

-

H31 目標値

+3 駅

(3) 広域都市連携による特色あるまちづくり

行政区域を越えた広域的な観点から自然環境の保全や地域の魅力づくり、効率的かつ効果的な情報発信を行うため、広域連携や関係自治体との連携による特色あるまちづくりを目指します。

想定される
取組

- ・ 環霧島会議や錦江湾奥会議における近隣市町との連携推進
- ・ 防災連携や広域観光振興など関係自治体との連携推進

重要業績評価指標
(KPI)

広域連携により取り組んだ事業数

基準値（現状）

①環霧島会議：26回
②錦江湾奥会議：3回

H31 目標値

①環霧島会議：40回
②錦江湾奥会議：12回

Ⅳ－４

環境と調和したまちづくりの推進

施策

概要・目的

暮らしやすい街を形成するための基盤整備や効率的なインフラの維持管理を行うとともに、山、川、海に恵まれた豊かな環境を将来の世代に引き継ぐため、環境と調和した自然にやさしいまちづくりを推進します。

具体的な施策

(1) 良好な環境の保全と形成

本市の豊かな自然と住みよい環境を将来の世代に引き継いでいくため、良好な環境の保全と形成に関する様々な取組を市民や事業者などと協働して行います。

想定される取組	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境の保全対策の推進 ・地域との協働による環境美化活動の推進 ・アダプト制度等を活用した地域住民や事業者等による環境保全活動への支援 ・企業や地域など社会全体での廃棄物の減量化と適正処理の推進 		
重要業績評価指標 (KPI)	①自然環境が保全されていると感じている市民の割合 ②美化活動に参加した市民の割合、③一人当たりのごみの排出量		
基準値 (現状)	①77.6%、②66.4% ③951g/人日	H31 目標値	①80.0%、②75.0% ③900g/人日

(2) 環境に配慮した再生可能エネルギーの推進

本市の恵まれた自然環境を活かし、安心して安全な再生可能エネルギーの導入を積極的に推進するとともに、省エネルギー対策について普及推進を図っていきます。

想定される取組	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の地域特性を活かした安心安全な再生可能エネルギー導入の推進 ・再生可能エネルギーを活用した地域活性化の推進 ・再生可能エネルギー発電施設を運営する事業者による連携組織の設立 		
重要業績評価指標 (KPI)	①再生可能エネルギーによる自給率 (民生部門電力消費量)		
基準値 (現状)	①69%	H31 目標値	①85%

(3) 暮らしやすいまちを形成するための基盤整備やインフラ等の維持管理の推進

暮らしやすいまちを形成し、市街地の魅力や賑わいを創出するため必要な基盤整備を推進します。また、既存の公共施設や土木インフラの効率的な維持・管理を図ります。

想定される取組	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能および地域の魅力向上に向けた区画整理事業の推進 ・暮らしやすいまちづくりに寄与する既存施設や道路をはじめとする土木インフラの効率的な整備や維持・管理の推進 ・多様な都市機能を備えた中心市街地の形成や幅広い世代が集うアミューズメント機能を持った都市空間づくりの推進 		
重要業績評価指標 (KPI)	①市内の幹線道路が移動しやすいと思う市民の割合 ②ゆとりある住宅が確保できていると思う市民の割合 ③市街地が魅力的であると思う市民の割合		
基準値 (現状)	①59.9% ②75.1% ③61.4%	H31 目標値	①62.9% ②78.1% ③64.4%